

グループ名 ・代表者名	NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちね 織田 好孝	助成金額	50 万円
連絡先など	tarachine@bz04.plala.or.jp http://www.iwakisokuteishitu.com/		
助成のテーマ	放射能汚染・低線量被ばく地における放射能測定 of 活動と記録		

## 【調査研究の概要】

- ・2013年3月からスタートした「たらちね甲状腺検診プロジェクト」は、2013年4月から活発に活動を始めた。2013年度の受検者数は3,186名でした。
- ・たらちね甲状腺検診プロジェクトでは、検診の内容をさらに詳細にわけている。のう胞・結節の大きさだけでなく、数、硬さ、形、場所、中身の様子について詳細に記録し、検診直後にその写真と報告書を受検者に手渡しています。
- ・検診は有志の医師によるボランティア協力を得て行なっています。
- ・検診中に医師から甲状腺についての詳細な説明を聞くことができます。そのことにより、健康に不安を感じている受検者やその保護者が正しい知識を得、病気に備える心構えを持つことができます。

## 【調査研究の経過】

2013年度たらちね甲状腺検診プロジェクト 全60回 受検者人数3186名

2013年4月 いわき市(4回)、郡山市(3回)  
5月 二本松市(2回)、郡山市(1回)、いわき市(5回)  
6月 いわき市(4回)、東京都(2回)  
7月 福島市(2回)、いわき市(5回)  
8月 いわき市(2回)、福島市(1回)  
9月 郡山市(1回)、いわき市(5回)  
10月 いわき市(3回)、郡山市(1回)、二本松市(1回)  
11月 いわき市(2回)、会津若松市(2回)  
12月 いわき市(3回)、田村郡(1回)

2014年1月 いわき市(1回)、福島市(1回)  
2月 福島市(1回)、いわき市(1回)  
3月 伊達市(3回)、二本松市(2回)、いわき市(2回)



## 【今後の展望など】

2013年度の検診活動の中で、放射能の被曝による健康被害について確たる結果は得られていませんが、今後長きに渡り人々の心と身体を守るために必要な活動であると考えます。

今後の活動内容としましては、インターネットの普及率が30%と低い福島県内の中で、いかにこれらの情報を拡散し、地域の人々の役に立つことができるかという点から広報の充実をはかりたいと考えています。それにともない、次年度は受検者人数も増やす計画です。

会計報告書の概要 (金額単位:千円)			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	検診担当医旅費(北海道・広島・島根・東京より)	2,106	500	0	1,606
機材・備品費	文房具(のり・ホッチキス・ボールペン・封筒等)	22	0	0	22
事務消耗品費	関係書類用紙費	72	0	0	72
人件費		1,865	0	0	1,865
外部委託費	チラシ折込広報 システム構築費 運送料	232	0	0	232
その他	通信費・通勤費・福利厚生費・保険料等	192	0	0	192
合 計		4,490	500	0	3,990

## 参考文献(ウェブサイトや書籍、成果物など)

- ・ NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちね <http://iwakisokuteishitu.com/>

## 担当医師紹介

野宗義博Dr 島根大学医学部 外科教授

西尾正道Dr 北海道がんセンター 名誉院長

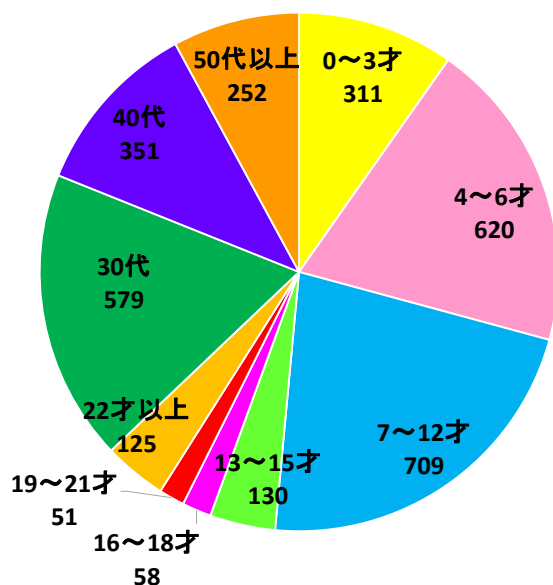
藤田操Dr ひらた中央病院 内科医

須田道雄Dr 須田医院院長 内分泌・甲状腺専門医

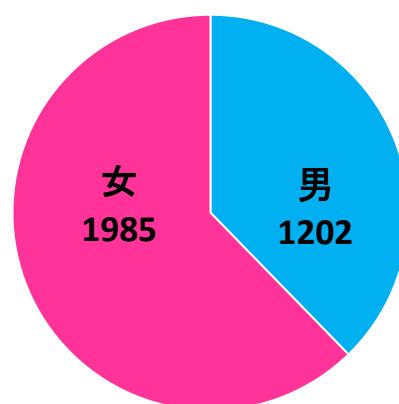
吉野裕紀Dr 北海道大学病院 放射線科医

小野寺俊輔Dr 北海道がんセンター 放射線科医

## 2013年度 年代別受検者数



## 男女割合



## 福島県県民健康管理調査の判定とは？ 以下の様に定められています

A判定	A1: 下記所見を認められなかったもの
	A2: 5.0mm以下の結節（しこり）や20.0mm以下の嚢胞 二次検査を要するもの
B判定	B: 5.1mm以上の結節（しこり）や20.1mm以上の嚢胞 直ちに、二次検査を要するもの
C判定	C: 甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの

### たらちねでの判定

たらちねでの判定はのう胞、結節以外の甲状腺の状態も考慮し、以下の3つに分けています。

所見無＝特に何も見当たらない

所見有＝のう胞、または結節が見られた（経過観察が必要）

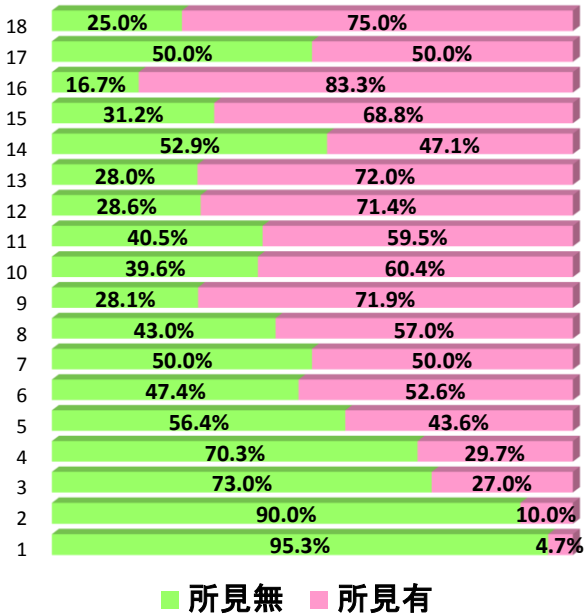
要精密検査＝専門医・専門機関での精密検査が必要

※のう胞や結節はなくとも甲状腺の状態により精密検査が必要とされる場合もあります。

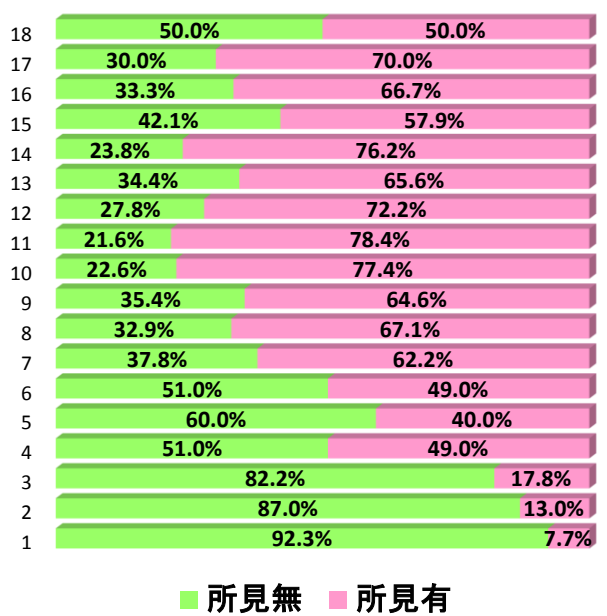
良性の疾患疑いのもので精密検査が必要でも福島判定に当てはめる場合、「C」ではなく「B」となる場合もあります。



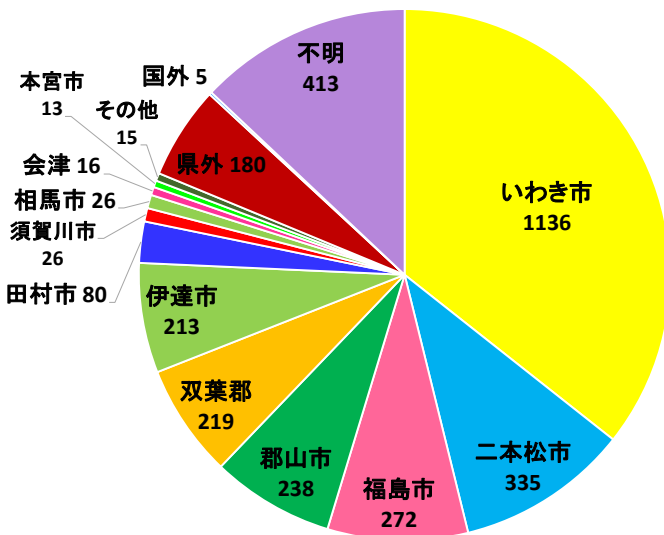
### 0～18歳男子所見有無



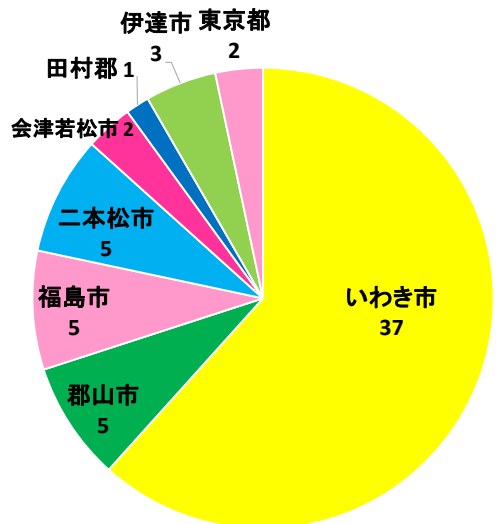
### 0～18歳女子所見有無



### 地域別受検者数



### 地域別検診回数



※不明413名につきましては現在個別確認中